



# 紫雲児の心

## チャレンジ・ウォーク大成功！

校長 五十嵐 めぐみ

5月2日（金）に、チャレンジ・ウォークを実施しました。今年のチャレンジ・ウォークは、これまでとはコースを変更して行いました。今から15年ほど前に、紫雲寺中学校でチャレンジ・ウォークが始まった当時は、バスで内ノ倉ダムまで行き、そこから歩いたそうです。その後、昨年度までは胎内市まで歩いていました。しかし、今年は紫雲寺地域の中だけを歩きました。生徒たちに、自分たちが住んでいる地域のことをもっとよく知ってほしいと思ったからです。途中、いくつかの「れんぎょうモニュメント」を見ながら歩きました。「れんぎょうモニュメント」は、かつて水害が多く苦しい生活をしていた紫雲寺の人々を救うために、何度失敗してもあきらめずに、協力して困難を乗り越えて、紫雲寺淵を干拓した先人たちの物語を刻んだ石碑です。

「れんぎょう」は旧紫雲寺町の花で、花言葉は「希望」です。「れんぎょうモニュメント」は、旧紫雲寺町の花「れんぎょう」と、その花言葉「希望」をテーマとし、旧紫雲寺町内に30基造られました。今年のチャレンジ・ウォークは、そのうちの5つを見付けながら歩きました。総距離は16.5kmと今までより短縮しましたが、歩くには長い距離です。一人で歩くのは苦しくても、「Support each other～仲間と共に～」のスローガンの通りに、生徒たちは互いにサポートし合って頑張りました。頑張った経験は、これからの人生を生き抜く力になります。何度失敗してもあきらめずに紫雲寺淵を干拓した先人たちの「紫雲寺魂」を引き継いで、困難にぶつかってもあきらめずに、前向きにチャレンジし続ける人になってほしいと願います。

連休明けの5月8日（月）には、全校生徒一人一人がチャレンジ・ウォークを振り返って川柳または短歌を作りました。その後、生徒会総務の企画で優秀作品の選考が行われ、校長が選んだ「竜王」、国語科教員が選んだ「名人」、生徒会総務が選んだ「王位」、学年生徒の相互投票で選ばれた「学年最優秀賞」、国語科教員2名の心をつかんだ「奨励賞」の表彰が、5月22日（月）の生徒朝会で行われました。校長が選んだ「竜王」の2作品を紹介します。

【川柳の部】 紫雲寺の 地域の人が 温かい

2年 古嶋 躍雲 さん

校長評:歩きながら、応援して下さる地域の方々の方々の温かさを実感しました。同感です。

【短歌の部】 限界は 決めつけ次第で 終わるから めげずに進んだ チャレンジ・ウォーク

3年 須貝 愛華 さん

校長評:苦しい時に「もう無理だ!」と自分で限界を決めつけてしまうとそこで終わる。あきらめそうになる弱い自分に負けず、歯を食いしばって頑張る姿が目につかびます。

チャレンジ・ウォークの安全な実施のために、計画作成時から地域の皆様に様々なアドバイスをいただきました。当日は、生徒と一緒に歩いたり、要所要所に立って生徒の安全確保をしたりして下さった保護者・地域の皆様のお陰で、事故なく安全に実施できました。さらに、沿道では多くの方に「頑張っ!」と応援していただいたお陰で、元気が出てゴールまで歩くことができました。多くの皆様からご支援・ご協力いただき、有意義な行事になりました。心より感謝申し上げます。

今年度のチャレンジ・ウォークは初めてのコースで行ったため、改善すべき点もあると思います。お気付きのことがございましたら学校にお知らせいただければ幸いです。次年度以降に向けて改善し、より良い行事となるように努めて参りますので、今後とも、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。